国際ロータリー
第2570地区

2025-26

川越ロータリークラブ
会　報　No.17

UNITE FOR GOOD

Rotary

2025 年 11 月 4 日　第 3545 回例会　会場：川越プリンスホテル 5 階

会員数：104 名　免除出席者：13 名　正会員出席者：49 名　出席者：62 名　早退：1 名　出席率：65.2%

プログラム
点鐘（12：30）／国家：君が代、ロータリーソング（第 1 例会：奉仕の理想）／ビジター・お客様紹介／卓話講師紹介／会長の時間／幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス／出席報告／卓話／点鐘（13：30）〈司会：山﨑ＳＡＡ〉

会長の時間

2025-26 年度 会長 吉澤　徳安

11 月理事会報告

・埼玉県の最低賃金の改定に伴い、栗原さんの時給を変更しました。
・第 1 グループでは青少年交換留学生に対し 11 クラブで支援することになり、ウクライナからの留学生受け入れに関して、16 万 2,000 円、地区から約 50 万円の補助金が出ます。これらの資金は透明性を確保するため、特別会計として処理することになりました。
・12 月に開催予定の夜間クリスマス例会について小林勇次郎クラブ管理・運営統括委員長より説明があり、12 月 16 日 18 時より、川越プリンスホテル 3 階のダイヤモンド・エメラルドルームで開催され、会費は会員 8,000 円、家族 10,000 円、小学生までの子供は 3,000 円となります。アトラクションとしてピアニストの篠崎仁美さんをお招きし、ジャズだけではなく童謡等多彩な演奏を予定しています。篠崎さんは、故安倍首相のスピーチの話し方指導などもなされていた方で、交友関係も広くいろいろなお話も交えながら演奏して頂けると思っております。本例会のドレスコードは、ジャケット・ネクタイ着用、または和服も可とします。また、親睦家族旅行の提案がなされ、来年 3 月 4 日ー5 日に川名でのゴルフや観光ツアーが計画されています。
・11 月 26 日に川越ライオンズクラブの 60 周年記念に会長が出席予定。
・2027-28 年度に青少年全国大会が川越で開催されます。この大会の準備委員会副委員長として栗原会員が指名されました。

幹事報告

2025-26 年度 幹事　髙橋　哲彦

・11 月のロータリーレート：1 ドル 154 円
・配布物：会報、11/4 世界糖尿病デー啓蒙チラシ、R 財団寄付のお願い

委員長報告

ロータリー財団委員会　今泉（嘉）委員長

ロータリー財団月間に因んで寄付のお願い

次週例会

卓話担当：吉澤会長
講師：東京 RC 会長　柏原孫左衛門氏
演題：温故知新　創業 300 年の企業経営について

ニコニコボックス

●星野高校インターアクトクラブ山田部長、市川副部長、牧野副部長、天野顧問、本日の卓話よろしくお願い致します。楽しみにしております。＜会長、幹事＞
●星野高校インターアクトクラブの皆様、ロータリー活動を通じて大いに世界にはばたいて下さい。＜立原 PG＞
●本日の卓話、星野高校インターアクトクラブ、山田部長、市川副部長、牧野副部長、天野顧問、楽しみにしています。＜和田（尚）、小杉、藤井、野溝、山﨑（共）、神谷、髙橋（徹）、八木、小林（勇）、長

瀬、住谷、馬場（常）、小橋、鈴木（尚）、齊藤（智）、小川、戸口、新井、中田（浩）、石井＞
●クールビズも終り、ジャケット着用の季節となりました。短い秋を楽しみましょう。＜西澤、川野邊、小杉、馬場（常）＞
●長男の高橋歩が高校ラグビー全国大会（花園）出場となりました。新潟県の北越高校で出場致します。１２月２７日～１月７日の日程で行われる花園に注目して下さい。全国で埼玉県代表と対戦出来れば最高です。高橋歩『背番号７』を是非応援お願いします。親バカですみません！！＜高橋（哲）＞
●ワールドシリーズドジャース勝利おめでとう。日本人３選手の活躍を嬉しく思います。＜西澤、小杉、水村、齊藤（智）、小川、中田（浩）＞
●ギックリ腰から回復し、約１ヶ月ぶりの復活となりました。寒くなる時期ですので、皆様もご自愛ください。＜山崎（大）、的矢、川野邊、鬼頭＞
●早退１名（敬称略）合計４８，０００円

卓話

講師：星野高等学校インターアクトクラブ
山田結菜部長（２年）、市川小麦副部長（２年）、牧野凛花副部長（２年）、天野大輔顧問
演題：星野高等学校インターアクトクラブ活動報告

現在、星野高等学校のインターアクトクラブは社会福祉部、バトン部、吹奏楽部ウインドオーケストラ、吹奏楽部マーチングバンドの４つのクラブで構成しており様々な社会奉仕活動を行っています。星野高校インターアクトクラブの生徒たちからは、2024 年 11 月～2025 年 10 月の活動報告です。

2024 年 11 月：いもの子バザー（川越市立藤見中学校にて）。今年は 11 月 9 日（日）に開催予定です。
2025 年 1 月：書き損じはがきの回収。集めたはがきは、養護盲老人ホームひとみ園に送りました。
2025 年 2 月：ライラデー。淑徳大学教授八尾板俊平先生の講演を聞きグループディスカッションを行いました。インターアクト部の拠点が欲しいという意見が多く出ました。
2025 年 4 月：あしなが学生募金（さいたま新都心駅にて）。多くの人に募金をしていただき、人の温かみを感じました。
2025 年 5 月：ポリオ撲滅募金（川越市内）。大きな声で募金を行い１０万円ほど集まりました。
お昼のカレーがとても美味しかったです。
2025 年 7 月：インターアクトクラブ年次大会。各校の福祉活動内容の紹介があり、多様で、多くの社会貢献活動があることを改めて知りました。またゲスト講師として招かれていた跡見学園女子大学松井理恵先生の講演ではフィールドワークを通じて実践的に研究、交流を行う重要性について学びました。特に印象に残っているのは、現地に赴くことの大切さというお話です。その言葉は私たちが行っている福祉活動にも通じるものがあり、現在、月に一度行っているおひさまパークという活動では、継続して関わる姿勢を大切にしています。
2025 年 8 月：川越手をつなぐ育成会（霞が関カンツリークラブ）。普段、公園や学校で十分に遊ぶことのできない子どもたちに思い切り遊べる場所を提供しました。活動内容はグランドゴルフ、サッカーなどの運動のほかバルーンアート体験など多岐にわたりました。野外マジックショーでは、子供たちが手伝いながら参加し、成功するたびに歓声があがる様子はさながら魔法のようで、とても楽しい時間でした。
2025 年 9 月：星華祭（文化祭）。これまでの活動を発表し、いもの子作業所で作成した、私たちのオリジナルプリントを施したおせんべいの販売を行いました。売上金は全ていもの子作業所に寄付しました。
地域多文化共生を担う次世代プラットフォーム共創事業。趣旨は外国籍住民と川越市内の諸課題を探索・討議し、川越市に提案。次世代多文化共生の未来をつくるワカモノの育成です。約半年間の調査後、**2025 年 1 月**に川越市、川越市長に提言を致しました。

吉澤会長　IAC の歴史についての補足説明
　インターアクトは、「International Action」の略で、1962 年にアメリカのフロリダで始まり、川越ロータリークラブは 1965 年に日本でも早い段階でインターアクトクラブを設立。現在、世界 150 カ国以上で 2 万クラブ、約 46 万人のインターアクターがいます。